

住宅型有料老人ホーム リハケアハウズルピナス勢野 平成 29 年 2 月 1 日よりリニューアルオープン

⇒短期間入居（お試し目的、リハビリ目的、レスパイト（介護負担軽減）目的の場合は、下記に別途設定しています。

料金：¥12,000(ご利用時間：9:00- 翌日 16:00)

食事：初日 - 昼食, 夕食, 2 日目 - 朝食, 昼食

追加料金として、上記時間以外のご利用は、¥1,000/ 時間となります。
9:00 以前のご来所、翌日 16:00 以降の利用の場合には追加料金がかかります。

ご持参いただくもの：着替え、タオル、洗面道具一式、必要に応じた介護用品（おむつ等）、医療用品（薬等）

住所：奈良県生駒郡三郷町勢野北 4 丁目 5 番 10 号

交通：車でお越しの場合 / 近鉄王寺駅から約 10 分、JR 三郷駅から約 5 分

電車でお越しの場合 / 近鉄信貴山下駅から奈良交通のバスに乗りし

『イーストヒルズ勢野』下車徒歩 5 分

お問い合わせ：090-4491-3551(担当：田中)：seya@rupinasu-inc.co.jp



★最新介護医療情報★

脳梗塞で死んだ細胞再生兵庫医科大、定説覆す発見(2017/1/5(木) 配信 神戸新聞 NEXT)

兵庫医科大(兵庫県西宮市)のグループが、脳梗塞の組織の中に神経細胞を作る細胞があることを発見し、それを採取、培養して移植することで、脳梗塞で死んでしまった脳細胞を再生させる研究を始めた。死んだ神経細胞は再生しないという定説を覆す発見で、グループは「今後 2 年余りで、臨床試験の前段階まで持っていきたい」と話す。(武藤邦生)

脳梗塞は脳の血管が詰まり、脳の神経細胞が死んでしまう病気で、後遺症が出ることも多い。その組織の中に神経細胞を作る細胞があることを、同大先端医学研究所の松山知弘教授、中込隆之准教授らが 2009 年、マウスの実験で発見。15 年には、血管の周囲の細胞が脳の一大事を受け、神経細胞などに変化できる「多能性」を獲得していることが分かった。体のさまざまな細胞を作れる多能性幹細胞といえば iPS 細胞が有名で、それに比べると発見された細胞は多能性が低いと考えられるが、体内で自然に生まれる。グループは重症の脳梗塞を起こしたヒトの脳でも存在を確認し、「iSC 細胞(虚血誘導性多能性幹細胞)」と名付けた。

この細胞の移植によって脳の再生も期待できることから、既に培養したマウスの iSC 細胞をマウスの脳に移植し、ある程度、正常に機能している状態を確認。さらに昨年 11 月、日本医療研究開発機構(AMED)の支援を受けて始めた研究では、ヒトの iSC 細胞をマウスに移植した場合の効果を確認する。マウスで効果があれば、ヒトへの応用の可能性も開けるといい、「iSC 細胞はもともと体内で作られるもので、移植しても、がんなどの危険性は低い」と中込准教授。研究責任者で、脳神経外科の高木俊範助教は「脳梗塞の脳には再生させようとする動きがある。そのメカニズムを生かした治療につなげたい」と話す。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第 51 回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒『高齢者住宅で、QOL を支えるリハビリについて』

開催日：平成 29 年 2 月 16 日(木)

時間：午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：東大阪市立東体育館 第三研修室

講師：ルピナス理学療法士 代表 田中仁

第 18 回郡山地域リハビリ勉強会

⇒高齢者の骨折の特徴と予防

開催日：平成 29 年 3 月 17 日(金)

時間：午後 6 時 15 分～午後 7 時 15 分

場所：三郷町文化センター

講師：ルピナス理学療法士 副主任 池田遼



第 21 回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒患者様からみた生活期のリハ' リテ-ヨリについて

開催日：平成 29 年 2 月 17 日(金)

時間：午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分

場所：忠岡町文化会館 3 階会議室

講師：ルピナス理学療法士 代表 田中仁

第 12 回城東地域リハビリ勉強会

⇒『高齢者住宅で、QOL を支えるリハビリについて』

開催日：平成 29 年 3 月 18 日(土)

時間：午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：城東区民センター 多目的室

講師：ルピナス理学療法士 代表 田中仁



スタッフ紹介



西木辻デイ、介護福祉士の吉岡由実と申します。

皆様に笑顔で楽しく過ごしていただけるよう、頑張ります。



理学療法士をしております。小藺と申します。リハビリの目標としましてはしんどい事を楽しく！です。

皆様のお力になれるように頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。